

本品は水上において瞬時にカヤックやパドル等を牽引することを目的に設計されています。本品に使用されているロープは水に浮くことを前提にポリプロピレン繊維100%を使用しています。収納されているロープは長さを自由に可変でき、最大10mまで伸ばすことができます。しかもショックコード内臓でパドルングの際のショックを軽減し長時間の牽引を助けてくれます。カラビナ(付属なし)を付けたロープが沈まないようフロートも標準装備です。

使用に際しては、収納ケースの中のロープはフラップを開閉させること無く瞬時にロープを引き出せるように設計されています。もし牽引の際、救助者の身に牽引を解除しなければいけないような危険な状況が発生すれば、ウエストベルトの開閉バックルに取り付けている黄色いループを強く引っ張ることで、ウエストベルトはバックルから抜け落ちて牽引から開放されます。

なお本品にはカラビナは含まれておりません。あらかじめ使用目的に応じた市販のカラビナ(重量 60g 以下)をご用意ください。海での使用の場合は防錆タイプかステンレス製の物をお使いください。



装着例

警告

- 遭難者を牽引したり、登山・ロッククライミングの補助ロープとしての目的で設計されておりませんので絶対に使用しないでください。
- 本品はロープも含め消耗品です。使用頻度や紫外線暴露等により劣化を生じますので、被覆の磨耗度合い・退色度合い等を判断して、安全のために早めの買い替え及びロープの交換をお願いします。

保管の方法

使用後は砂・泥などの汚れや海水などを真水で洗い流し、ロープを出したまま日陰の風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。十分に乾燥し終わったらロープをバッグに収納させて、屋内・野外のどちらであっても直射日光の当たらない場所を選んで保管してください。

使用方法例

カヤックやそのレスキューは経験を必要とする行為です。経験が浅い人は経験豊かな指導者の下でのみ本製品を使用してください。また、本製品を確実に使いこなすには、普段からの練習が必要不可欠です。指導者・同行者の方と安全を確保した上で繰り返し練習してください。

<海上でのカヤックの牽引方法>

カヤックの牽引に必要なロープの長さは、自艇と牽引される艇が互いに接触しない距離を確保することが必要です。特にシーカヤックの場合、複雑な波や海流で艇同士が衝突する危険性もあり、その状況に応じて余分に間隔を広げる必要があります。それらを考慮して最大長10mというロープ長を割り出しています。

操作手順

1. 出艇前にカヤックの長さや波の高さなどをある程度計算し、繰り出すロープの長さを予想し、プルージックをずらしてあらかじめ調整しておきます。また、事前にカラビナをロープ端に連結しておき、収納ケースの前面にあるカラビナポケットに差込こんでおきます。ウエストベルトの長さを調整した上で、トウイングロープを腰に連結します。
2. ツアー中に牽引が必要な場合は、フラップを開閉させずに収納ケースの前面にあるカラビナポケットより、カラビナとロープを引き出し、牽引するカヤックやパドルに装着します。
3. 必要に応じて、プルージックをずらして長さ調整を行います。長さ調整は、ロープのテンションが緩んでいるときに行います。
4. 万一、救助者の身に牽引を解除しなければいけないような危険な状況が発生すれば、ウエストベルトの開閉バックルに取り付けている黄色いループを強く引っ張ることで、ウエストベルトはバックルから抜け落ちて牽引から開放されます。



警告

- ロープを腕に巻きつけたり、エンドループに手首を通したり、体やライフジャケットに直接ロープを縛り付けることは非常に危険ですので絶対にしないでください。
- ロープをつけたカラビナを、体やライフジャケットに直接連結することは非常に危険ですので絶対にしないでください。
- ロープを扱う場合には最悪のことを考えて、各自がナイフを携帯することをお勧めします。